



情報誌

FAR

68号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

懇親事業について

副会長 小水 満



COVID-19 によって 2020 年から世界的なパンデミックが始まって 4 年になろうとしています。昨年の 5 月から、感染法上の位置づけが 2 類から 5 類になり、以前の日常に戻りつつあります。漸く、最近になってコロナ感染者数の減少もみられていますが、今後の感染動向についてはまだまだ予断できないものと思っています。

このような状況下での FAR 会の活動は、対面となる世話人会や懇親会事業などで中止や規模縮小・変更などを余儀なくされてきました。早く以前の事業計画が実行できることを願うものです。

昨年度から、FAR 会会長が川上壽昭先生から藤田 透先生にバトンタッチされました。藤田新体制では、FAR 会の各事業を副会長担当制とし、事業運営を充実する体制にされました。私は、懇親会担当に指名されています。

周知のように、FAR 会の目的は規約で、「会員の親睦を図ることを旨とし、併せて JSRT の発展を支援する」となっています。このうち親睦会を図る事業では、総会時に、「FAR 会懇親の夕べ」と称して、横浜、東京地域の世話人に代表幹事をお願いし、懇親会を計画していただきました。一方、8 支部が持ち回って開催される秋季学術大会時では、開催地域在住の世話人に代表幹事をお願いして「FAR 会秋季懇親旅行」を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染禍が続く状況下では、「懇親旅行」が難しくなり、漸く、一昨年度に「2022 年 FAR 会秋季懇親の夕べ」が東京で開催できました。続く、2023 年度名古屋の秋季大会では、名古屋在住の世話人に代表幹事をお願いして懇親の計画をお願いしました。しかし、時勢がら秋季懇親旅行の計画は難しいとの代表幹事の意見で、「懇親の夕べ」での開催となりました。「2023 年 FAR 会懇親の夕べ」での開催準備では、昨今の物価高騰の影響を受けて、会場の選択や開催経費について大変ご苦労されました。さらに、参加費 1 万円の見直しも今後の課題となりました。

2024 年度の秋季学術大会は、2024 年 10 月 31 日～11 月 3 日に JART との合同での沖縄県開催となっています。初めての沖縄開催であり、懇親をどのようにするかについて検討中です。FAR 会のもう一つの目的が学会を支援することでもあることから、遠隔地とはいえ、何とか現地で懇親会開催を実現したいと思っています。

このように懇親事業では、特に、秋季大会時での懇親会開催は地域の特異性があることから、どのような形で開催できるかが課題であると思います。しかし、懇親会を継続的に開催することは FAR 会の活性化、牽いては、会員増にもつながると思っています。懇親会担当として、なんとか FAR 会の活性化に繋がる懇親活動としたいと思っています。微力な懇親会担当としましては、会員の皆様のご協力を切にお願いするものであります。

内 容

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 小水 満 |
| 2. 第 80 回総会学術大会へのお誘い | 大会長 根岸 徹 |
| 3. 2024 FAR 会 懇親の夕べ | 代表幹事 江島光弘 |
| 4. 第 51 回秋季大会報告 | 実行委員長 國友博史 |
| 5. 2023 FAR 会 懇親の夕べ報告 | 代表幹事 藤田卓造 |
| 6. 会員動向 | |
| 7. 会からのお知らせ | |
| 8. 2024 年 FAR 会 懇親の夕べ (案内予告) | |
| 9. JSRT 情報 | |
| 10. 編集の小窓 | |

《第 80 回総会学術大会へのお誘い》

ご 換 拶

第 80 回総会学術大会 大会長 根岸 徹



FAR 会の先生方には、いつもご指導いただき心より感謝申し上げます。この度、第 80 回総会学術大会の大会長を仰せつかりました根岸 徹と申します。今大会のテーマは『変革の時代を先導する -Leading an Era of Transformation-』としております。これはポスターにあります横浜みなとみらい地区から都心に向かう景色を俯瞰して臨み、三羽の鳥の先頭が放射線業界を表し、医療業界を先導していくことをイメージして作成したものです。また、学会場であるパシフィコ横浜に向かう「さくら通り」には文字通り「桜」が満開となっており、来場者をお迎えしております。

さて、私は 2012 年 10 月に開催された第 40 回秋季学術大会（保科正夫大会長）、2016 年 4 月開催の第 72 回総会学術大会（小倉明夫大会長）、そして 2021 年 4 月開催の第 77 回総会学術大会（西出裕子大会長）と 3 大会で実行委員長を務めてまいりました。その経験を活かして、参加者に楽しんでいただける総会学術大会となるよう励んでまいりたいと存じます。また、この実行委員長を務めさせていただいた年は、2012 年はロンドン、2016 年はリオデジャネイロ、そして 2021 年に東京と夏季オリンピックが開催された年でもあります。そうです、2024 年はパリでのオリンピックが開催される年でもありますので、そのタイミングで学術大会事業の節目を迎えるというめぐりあわせを私は持っているようです。

私の総会学術大会への拘りは、なるべく発表登録法や発表方法を変化させない事でした。これは小倉明夫大会長の時の教えでもあり拘りでもありました。それを踏襲し、シンプルに、かつ大胆に時代を変革していく総会学術大会でありたいと考えた次第です。

本大会では、3rd ICRIPT (International Conference on Radiological Physics and Technology) を開催いたします。これは日本放射線技術学会において世界的にも最先端な放射線技術学を先導している研究内容を、世界に伝えたいという願望から日本放射線物理学会と共同で運営している国際発表会です。日本放射線技術学会において総会学術大会では国際化を推し進める観点から、口述発表スライドの全面英語化を 2016 年から推進してきました。しかし 2020 年に発生したコロナ禍により、残念ながら総会学術大会は海外からの発表者や参加者が減ってしまいました。これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる 2 類相当）」としていましたが、2023 年 5 月 8 日から「5 類感染症」になりました。これにより 2024 年度は新型コロナウイルス感染症の規制が解除されてから初めての総会学術大会となり、海外の研究者も増加してくるものと思われます。また、近年急速に発展を遂げてきている AI (Artificial Intelligence) を活用した国際化も目指し、総会学術大会に変革をもたらす第一歩になるような大会にしていきたいと考えています。FAR 会の先生方も是非、進化しつつある発表会場に足をお運び頂き、発表風景をご覧くださいと幸いです。横浜での技術学会・学術大会参加者登録者は、昨年は 5,000 人を超えましたが、現地に来られた方も 7 割程度と増えてきつつあります。また、JRC への全体の参加登録者は 20,000 人を超えており、限られた会場数のために、昨年は立ち見が多く出るなど問題点も多くありました。そのため、今年度は来場者が特に多くなる金曜日と土曜日にサテライト会場を使用するなど、創意工夫をしながら対処する予定です。なお、今年も Hybrid で教育講演やシンポジウムなどはオンライン配信を行う予定ではございますが、是非とも会場に足を運んでいただき来場者が参加登録者の 8 割を超えるような活気のある総会学術大会となることを願っております。

次に今大会のシンポジウムについてご紹介いたします。JRC 合同シンポジウムとしては、「生成 AI の先にある新しい医療～画像診断をめぐるこれから～」、「放射線診療のイノベーションと産学連携」、「未知の放射線医学を先導する科学技術」の 3 つであり、それぞれ人工知能がテーマに含まれております。そして日本放射線技術学会のシンポジウムは、「画像評価におけるタスクベースへの期待と課題」、「一般撮影におけるパラダイムシフト」、「医工連携の真髄～異分野融合～」の 3 つを開催します。近年注目の内容ですので、熱い討論を期待しております。さらに、実行委員会企画をはじめ今年度から木曜日も開催されるランチタイムタイムレクチャーが 18 セッション、各専門部会のシンポジウムや厳選された一般発表など、多くの学術発表が先生方をお待ち申し上げて

おります。



JRC2024
変革の時代を先導する
Leading an Era of Transformation

会期
2024
4.11-14
Thu Sun

会場
パシフィコ横浜

第83回 日本医学放射線学会総会
会長 **陣崎 雅弘**
慶應義塾大学

第80回 日本放射線技術学会総会学術大会
大会長 **根岸 徹**
東京都立大学

第127回 日本医学物理学会学術大会
大会長 **石川 正純**
北海道大学

同時開催 **JIRA** ITEM2024 国際医用画像総合展
2024.4.12(Fri) - 14(Sun)

JRC 日本ラジオロジー協会
<https://www.jrc.org/>

日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本医学物理学会、日本放射線技術学会工芸学会の四学会が共同で開催されており、各学会の学術大会と連動して開催されています。

最後になりましたが、FAR会の諸先生方が育んでこられたこの日本放射線技術学会を、さらに発展させるべく我々は一所懸命努力いたしますので、私の地元であるこの横浜まで出向いていただき、温かい目で見守っていただくとともに、ご指導賜りますことを心よりお願い申し上げます。

《2024年 FAR会 懇親の夕べ》

第80回総会学術大会 「2024 FAR会 春季懇親の夕べ」 ご案内

代表幹事 江島光弘

2024年 第80回総会時の「2024 FAR会 春季懇親の夕べ」は、横浜ではお馴染みの周 富輝オーナーシェフの中 華料理店「生香園 新館」で開催させていただくこととなりました。横浜の馬車道通りにあるこのお店は、広東

料理をベースにした、あっさり味の独自の中華が楽しめます。皆様におかれましては、万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

日 時：2024年4月13日(土) 午後7時～9時(2時間を予定)
会 場：横浜 馬車道通り「生香園」(セイコウエン) (広東料理) 新館 2F
www.shu-tomiteru.jp
住 所：神奈川県横浜市中区太田町 5-56
電 話：045-681-4121
会 費：10,000 円 (飲み放題付)
代表幹事：江島光弘
連 絡 先：ejima.mituhiro@gmail.com
電 話：070-3338-1054



【交通のご案内】

- みなとみらい線「馬車道駅」5番出口 より 徒歩5分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」8・9番出口 より 徒歩8分
- JR 根岸線「関内駅」北口 より 徒歩10分

※馬車道駅から 177m

《第 51 回秋季学術大会報告》

第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会開催報告

実行委員長 (藤田医科大学) 國友博史



2023年10月27日(金)から10月29日(日)までの期間で名古屋国際会議場において開催された第51回秋季学術大会は、4年ぶりの行動制限のない中で現地開催が実現し、天候にも恵まれる中、合計1,511名の参加者が現地会場に集い、かつての活気を感じさせる素晴らしい大会を開催することができました。

大会テーマを「Go into the future - 一つ先の未来へ -」と掲げ、今大会を放射線技術学の技術革新を感じ、参加者らが新たな放射線技術学へ挑戦する気持ちが沸き立つような大会にしたいという思いと、世界がコロナ禍の収束と共に新たな一步を踏み出す期待感を表現しました。この大会テーマに沿う形で特別講演、実行委員会企画、各専門部会、委員会企画など多くの講演を計画することができ、一般演題発表の会場も含め、各会場では活発な討論が繰り広げられ、大変熱気ある雰囲気を感じ取ることができました。

今大会の開催を計画する際には、現地参加を意識し、学会場に来場しないと得られない新たな企画に焦点を当てました。VR体験やハンズオンセミナーなどを開催し、それを目的に遠方から参加して頂いた方もいると伺い、どのセミナーもほぼ満席となる盛況ぶりでした。

特に今大会は機器展示会場の演出に力を入れ、安らぎの空間演出として、ハローウィンの休憩エリアを設けたり、秋季大会では初めての取り組みとして大きな展示ブースを企画するなどを行いました。またスタンプラリーでのドーナツの配布やproduct expoとして、全ての会場の発表を止め、展示会場に参加する時間を設けることで、多くの参加者に立ち寄ってもらうことができ、展示会場にも大いなる活気が漂い、多くの出展社から好評を得る結果となりました。

また、情報交換会も4年ぶりに立食形式で開催することができ、多くの方が参加し、会場は大変な賑わいを見せました。参加者の人たちは久しぶりの情報交換会に興じ、あらゆるところで歓談している様子が見受けられました。学会に参加することは学術的な知識を増やすだけでなく、情報交換会などで多くの人たちと楽しい交流を

することも学会として、大変大きな役割と感じており、そのような意味においても情報交換会の成功が大会全体の成功に大きく寄与したと感じられました。

総じて、2023年の秋季学術大会は多種多様なプログラムと新たな企画に積極的に取り組んだことにより、参加した人達には新たな学びや交流の場を提供することができ、大変活気にあふれた未来への一步を示す素晴らしい大会にすることができたと感じております。

また、オンデマンド形式も12月8日まで開催し、現地参加者を含めた総参加者数が2,292名に達することができました。この大会の企画やさまざまな準備は、技術学会としての歴史を踏まえた過去の大会開催の功績に支えられており、大会準備をするにあたり、多くの工夫やノウハウを活用することができました。そして多くの参加者に来て頂けたのも、学会が築き上げた歴史の賜物であり、その偉大な先輩方に感謝の意を表します。

大会に参加した皆様には、放射線技術の発展を引き続き担っていただき、今後の学会での成果発表を期待しています。参加者の多様性と情熱により、本学会は更なる進展を遂げることを期待しております。

最後に、開催の機会を与えてくださった本部理事会の皆様、協賛・ご支援を賜った JRC・JIRA 様など関連団体の皆様、そして常に温かいご支援をいただいた FAR 会の先生方に深く感謝申し上げます。本大会の成功は FAR 会の皆様方のご協力とご支援があつてこそ成り立ったものであり、今後とも更なる発展を目指してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

【第51回秋季学術大会】実行委員の紹介

阿部真治（名古屋大学医学部附属病院）

市川 肇（豊橋市民病院）

加藤勝也（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院）

菅 博人（名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻）

小林謙一（藤田医科大学病院）

小林正尚（藤田医科大学）

鈴木崇宏（藤田医科大学病院）

高木雅悠（藤田医科大学病院）

中村登紀子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

永澤直樹（鈴鹿医療科学大学）

西本卓矢（名古屋大学医学部附属病院）



《2023 FAR 会 懇親の夕べ報告》

「2023 年 FAR 会 秋季懇親の夕べ」報告

代表幹事 藤田卓造

今回は、本間龍夫・内山幸男の両名にもお手伝いを戴きました。

日本放射線技術学会・第51回秋季学術大会が名古屋国際会議場にて10月27日（金）より開催され、同日19時より「FAR会秋季懇親の夕べ」がANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋29階・中国料理「花梨」にて30名の御参加を戴き盛会裏に開催されました。



FAR会のシンボルマーク提案者であり、車イスで参加された前越 久顧問から力強い開会宣言を戴いた後、藤田 透会長より御挨拶を戴き、小水 満副会長から乾杯の御発声により進みました。御来賓の到着により、石田隆行 JSRT 代表理事、小山修司大会長、國友博史実行委員長と順次御挨拶を戴き、再度乾杯を行いました。

歓談の一刻後、第 80 回総会学術大会・根岸 徹大会長の御挨拶と案内が行われ、しばらくの後、全員の集合写真撮影となり、部屋を移動後撮影 出来上がった写真は上記のとおりです。写真撮影で時間となり自然閉会と成りました。

第 51 回秋季学術大会実行委員会から名古屋銘菓両口屋のお菓子を参加者全員に贈呈戴き御礼を申し上げます。最後に、受付および会計処理に御協力を戴きました草山泰子副会長に感謝申し上げます。

尚、その時 500 円のオーバー分が有りました。紹興酒を飲むときの乾燥梅は有償との事で咄嗟に草山様が立て替えましたので後日、錦 成郎事務局長に報告、善処をお願い致しました事。以上を報告とします。後日、写真を全員に送らせて戴きましたので写真を見ながら当日を思い出して戴けたら幸いです。

《会員動向》

- ① 会 員 数：89 名（内、名誉会員：16 名）（2023 年 11 月 31 日現在）
- ② 新規入会者：なし
- ③ 退 会 者：中園誠善（規約 5 条 2 により 9 月 15 日付けで）
- ④ 死亡退会者：なし

《会からのお知らせ》

報 告 事 項

事業報告

①世話人会

2023 年 10 月 27 日（金）15:30～17:00、名古屋国際会議場 4 号館 3 階 436 会議室において 2023 年度 第 2 回世話人会を開催した。参加世話人数は 13 名であった。

②懇親の夕べ

2023 年 10 月 27 日（金）19 時から 21 時に ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋 29 階 中国料理 花梨において 30 名の参加で「秋季懇親の夕べ」を開催した。

代表幹事：藤田卓造、幹事：内山幸男・本間龍夫のお世話で会費は 10,000 円であった。

今後の予定

1)会議関係

- ①2023 年度第 1 回運営委員会・総務委員会合同委員会

日 時：2024 年 1 月 15 日(月曜日)

場 所：JSRT 事務局

②2024 年度第 1 回世話人会

日 時：2024 年 4 月 13 日（土）15:30～17:00(予定)

場 所：パシフィコ横浜 会議室

③2024 年度第 2 回世話人会

世話人会については開催地が沖縄であり宿泊、交通を考慮して、2024 年度(上半期)の報告、議題等はメール文書による持ち回りとする事とした。

2) 懇親の夕べ

①「2024 年度春季懇親の夕べ」(代表幹事：江島光弘)

日 時：2024 年 4 月 13 日（土）19：00～21：00

場 所：生香園（横浜市中区太田町 5-56 TEL045-681-4121）

会 費：10,000 円

②「2024 年度秋季懇親の夕べ」

懇親会は FAR 会会員に開催日時等を知らせ開催することとした。

代表幹事、日程、場所、会費等の詳細は次回世話人会に提案することとした。

3) その他

世話人の交代

井手口忠光世話人より公務の都合により世話人辞退の申し入れがあり第 2 回世話人会で相談した結果、今年度(2023 年度)限りで世話人を交代していただくこととした。

世話人交代の件でメール会議を開催し 2024 年 4 月より白石順二前代表理事を後任として選出した。

(回答数：18 名、承認：18 名、不承認：0 名)

白石世話人の任期は井手口世話人の残任期間(2026 年 3 月 31 日まで)とする。

《2024 年 FAR 会 懇親の夕べ》

「2024 年度秋季懇親の夕べ」ご案内予告

代表幹事 藤田 透

幹 事 小水 満

2024 年度の第 52 回秋季学術大会は、JART との合同で第 1 回日本放射線医療技術学術大会として沖縄県宜野湾市で開催されます。

FAR 会「2024 年度秋季懇親の夕べ」は、沖縄県那覇市での開催を計画しています。

初めての沖縄県開催（連休）のため、ホテルや飛行機便の予約など事前の準備が必要となりました。

従いまして、開催案内を会誌 68 号で繰り上げて予告します。尚、詳細の開催案内は会誌 69 号でも案内を予定しています。

1. 懇親会開催概要

日 時：2024 年 11 月 1 日（金）（時間：18:00～20:00 を予定）

開 催：那覇市内（場所の詳細は追ってお知らせします）

会 費：未定（1 万円程度）

2. 懇親会参加の出欠ハガキの返信について

ホテルの宿泊および飛行機便予約について

1) ホテル（那覇市内）、飛行機便（JAL 或いは ANA）の予約を希望される場合

同封の出欠票のハガキに、必要事項を記入の上、

2024 年 2 月 29 日（木）（当日消印有効）までにご投函の上、お申込み下さい。

ホテル：1 泊朝食付き 2.0 万円～1.3 万円です。（国際通り又はそれ以外での値段差）

飛行機便：早割（75 日前）予約が可能です。
2) 宿泊ホテル、飛行機便をご自身で確保される場合
同封の出欠票ハガキの返信は9 月末日が締切です。

《JSRT 情報》

『第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会』大会テーマ：「変革の時代を先導する」

Leading an Era of Transformation

大会長：根岸 徹（東京都立大学）

会 期：2024 年 4 月 11 日（木）～14 日（日）

会 場：パシフィコ横浜

『第 1 回日本放射線医療技術学術大会』：併催 第 40 回日本医療放射線技術学会・第 52 回秋季学術大会

大会テーマ：「ゆいまーる ～診療放射線技術の共創～」

大会長：上田克彦（JART）・白石順二（JSRT）

会 期：2024 年 10 月 31 日（木）～11 月 3 日（日）

会 場：沖縄コンベンションセンター：沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1

《編集の小密》

情報誌 FAR 第 68 号をお届けします。お忙しい中、執筆を頂きました先生方に厚く感謝申し上げます。

私は昨年から情報誌 FAR の編集に携わるようになり、編集委員の皆さまの的確な校正、そしてとことんまで追求する姿勢に感銘を受けております。

さて、一昨年から町内会の役員を、今年から会長を務めております。町内会の役員になったのは、勧められたこともあります。おこがましいですが地域への貢献、ご奉公を少しでも行おうと思ったからです。在職中は自宅と勤務先との往復のみで、隣近所の家々のお名前のみならずお顔も理解していませんでしたが、役員になり近所の家々や周辺の道などの周りが見えてきました。町内会の運営は、今まで経験した学会の活動が大変参考になっておりますが、町内会活動は前例主義がはびこり、新しいことをやるときは覚悟が必要だと最近気がついてきました。一方で変化を求める声も有り、大きな声と小さな声に耳を傾けながら運営しております。

さて、私の住む町内に谷津観音堂があります。その境内の端に馬頭観世音敷地記念碑（図-1）があります。明治 22 年 7 月 31 日午前 8 時に、前橋発の一番列車が上尾停車場の谷津踏切にて、上尾一川越間の二頭立て乗り合い馬車を発見し、汽笛を鳴らしたが衝突し二頭の馬が轢死。馱者は重傷、乗客は無事であった。（読売新聞 明治 22 年 8 月 2 日朝刊引用）。斃死した二頭の馬を悼んで供養塔が建てられ、2 回の移設を経て、昭和 32 年現地に移設された。日本初の鉄道が新橋駅横浜駅間に開業した 17 年後に、新しい文化である鉄道と従来の移動手段であった馬車の事故があったことを知り、改めて歴史を振り返り印象深く感じた。

小川 清、記

【参考】

轢死（れきし）：列車、電車および自動車などの轢過による死亡

馱者（ぎょしゃ）：馬に乗って、馬を操る人

斃死（へいし）：行き倒れて死亡したり、野垂れ死をしたりすること。



【図-1】

FAR 情報誌 No. 68(非売品)

発 行 日 2024 年 1 月 15 日

発 行 者 藤 田 透

編集委員会

森 克彦（委員長）

石井 勉（委 員）

江島光弘（ 々 ）

小川 清（ 々 ）

山田和美（顧 問）



連 絡 先

TEL・FAX：049-225-2619

E-mail：mokamokawh@gmail.com

mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp